

# 大空 (生徒・保護者向け) 3号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年4月10日(金)

## 第47回宮崎県立宮崎西高等学校入学式式辞～少なくとも三兎を追え～

### □本日の概要

- 令和2年度、宮崎西高校は、スーパーサイエンスハイスクールに認定された。今後は宮崎西高校の目標であるSTEAM教育を推進し、教養を身につけていきます。
- 高く具体的な目標を持って欲しい。高い目標を持つためには、多くの体験をすることが必要だ。
- 複数の目標を持って欲しい。「学業、部活動、学校行事」の三兎を追ってほしい。
- 世界のどこかを支える、グローバルな人材になって欲しい。

### □新しい仲間との出会いを大切に夢をふくらませよう

新緑に桜の花びらが舞い散る今日の佳き日に、保護者の皆様とともに第47回入学式を挙げていきますことは、私たち教職員一同、誠に喜びに堪えないところであり、厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可されました新入生368名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年は、3月に全国の学校が一斉休校になり、何もかもが例年と大きく変わりました。皆さんも保護者の皆様も未だかつて経験したことのない不安な日々のまま、今日という日を迎えられることと拝察します。しかし、今日からは新しいスタートです。宮崎西高校は、皆さんの夢の達成を全力で支えます。

### □スーパーサイエンスハイスクールの認定

宮崎西高等学校は、本年度、スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)に認定されました。スーパー・サイエンス・ハイスクールというと理系の人だけを育成する学校のように聞こえますが、そうではありません。スーパー・サイエンス・ハイスクールに認定されるためには、文部科学省の厳しい審査がありますが、宮崎西高校が申請したテーマは、「STEAM教育の推進」です。

STEAMとは、ScienceのS、TechnologyのT、EngineeringのE、ArtのA、MathematicsのMの頭文字をとったものです。サイエンスは「科学」、テクノロジーは「技術」、エンジニアリングは「工学」、マスマティクスは「数学」です。どれも大切な学問ですが、本校はアートを重視しています。

アートとは、芸術はもちろんのこと、人文科学や社会科学、自然科学などを含む「教養」のことです。さらに、「感性」や「美意識」など、ペーパーテスト等で測定したり、具体的に説明しにくい力です。例えば、大自然の美しさにうっとりして、どうしてこんなに美しいのだろうと感動したり、想像して夢を膨らます力も含まれます。探究し、知的興奮でわくわくしたり、様々な情報の中から、直感的に正しいものを選び取る力も含まれます。

教養は、教科書だけでは学べません。自分で疑問を持ち、調査や体験をし、自分で答えを出す学習を何回も繰り返し、成功と失敗をぐるぐる繰り返す体験が必要です。良い本や、優れた芸術に触れる体験が必要です。友達と話し合い、時には意見の違いに悩みながら、折り合いをつける体験が必要です。高校生活で出会う、知識や体験などのすべてを通して身につけていくものです。受け身ではなく、主体的に高校生活に臨んでください。

### □高い目標を持つ

それでは、高校生活を送るにあたり、皆さんにいくつかアドバイスをします。

まず、高い目標を持ってください。これは、いわゆる偏差値の高い大学を目指すという意味ではありません。どんな目標でもいいのです。できるだけ具体的に、それを達成することを考えるだけで、わくわくし、やる気が漲る目標を持ってください。そして、その目標は手を伸ばせば届くものではなく、全力で努力をしなければ到達できない、高い、最高の目標にしてください。

イチロー選手は、幼い頃から具体的な高い目標

を持ち、努力しました。イチローが小学校6年生のときに書いた作文は、人生設計と言えるほど具体的です。一流のプロになるためには、中学、高校で全国大会に進む必要があること、努力の必要性、目標球団、年俸、そして、お世話になった人に招待券を配ってお礼をすることまで書かれています。この具体的なイメージが、彼のモチベーションになったのでしょう。

もちろん、まだ目標が決まっていない人もいますでしょう。多くの選択肢があり、絞れない人もいますでしょう。今はそれでもいいのですが、待つだけでは目標を持つことはできません。目標は、情報を集め、話を聞き、様々な体験をし、模索する中で見つけるものです。様々な情報を集め、自分の目標を具体的に設定してください。

### □複数の目標を持つ～三兎を追え～



次に、勉強以外の大切な目標を持ってください。もちろん勉強は大事ですが、それだけがすべてではありません。勉強はもちろんのこと、それ以外の分野でも頑張ることが皆さんを成長させ、皆さんを支えます。

埼玉県の教育長である関根郁夫氏は、埼玉県立浦和高校（埼玉のトップ校で、ラグビーの花園の常連の文武両道の高校）の校長時代、生徒達に「少なくとも三兎を追え」と語っていました。聞き慣れない言葉ですが、「二兎を追うものは一兎をも得ず」ということわざの逆を説いた言葉です。もともとの「二兎を追う」とは、目標を二つ持つことを意味しています。複数のことを目標にすると、中途半端に終わってしまうので、一つのこと絞りに込んで確実に身につけよという意味ですが、関根氏によれば、高校生活は、むしろ逆です。二兎を追うどころか、「少なくとも三兎を追え」、すなわち三匹の兎を追いかけよというのです。関根氏のいう「三兎」とは「学業、部活動、学校行事」のことです。学業に一生懸命取り組むのはもちろん、部活動や行事に参加することで、心身が鍛え

られ、チームワークも身につきます。活躍する場が増えることが、皆さんを成長させます。

また、複数の目標があると、一つがうまくいかないときでも、もう一つの目標が自分に自信を与え、支えてくれます。ほぼ全員の新生入生が、高校で勉強についていけないか不安だと答えますが、迷ったら積極策、両立を不安がらず、まず、チャレンジしてみてください。

### □世界のどこかを支える人になる

最後に、世界のどこかを支える人間になってください。

「ふるさと」を辞書で引くと、「自分が生まれ育った土地」です。皆さんには、生まれ育った土地を大切にしてほしいと思っています。しかし、私は、「ふるさと」は生まれ育った土地に限定する時代ではなく、自分の高い目標を果たすための舞台が「ふるさと」だと思っています。もちろん、皆さんにはこの宮崎県のことを大切にしたい。宮崎県に戻ってきて、直接、宮崎を支える人材にもなってほしいと思っています。同時に、目標を果たす場所が世界のどこかなら、宮崎のことを思いながら、世界のどこかをしっかりと支えてほしい。皆さんが、世界のどこかを支える人間になることは、実は宮崎を支えることにつながると思います。

最後になりましたが、本日ご臨席いただいております保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠にありがとうございます。現在、私達を取り巻く状況を見ると、特に不安なお気持ちであったかと拝察いたします。しかし、ここにいる生徒たちは、宮崎を支え、世界を支える宝です。現状の厳しさの中で、自分たちが何をなすべきかを理解できる生徒たちばかりであると信じています。私達教職員は、全力で、この宝のような子どもたちを育てます。ご心配なことは何でも御相談ください。私達は、全力で生徒の命を守ります。

さて、新生入生の皆さん、いよいよ宮崎西高等学校での生活が始まります。思いきって、高校生活の第一歩を踏み出してください。今後の皆さんの高校生活が充実したものになるよう、教職員一同、全力で支援することをお約束し、式辞といたします。